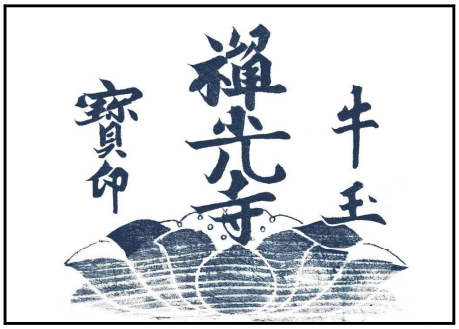
みかい

安住院便り
（第22号）
平成21年1月1日発行
〒703−8236
岡山市国富3丁目1−29
住職　生駒琢一
TEL(086)272−2320　FAX(086)273−9327

会陽（えよう）

皆様、二月の春を迎える風物詩として、岡山西大寺観音院の会陽（裸祭り）は、全国的に有名です。またこの時期、岡山県を中心に各地で、真木（しんぎ）を奪い合う裸祭りの行事が行われ、大人から子供もまで数多くの参加者で、にぎわう様子が紹介されています。

本来、お正月からの数週間の御祈祷の行事を締めくくるものとして、御祈祷のお札を渡していたものが、奪い合いとなったので、怪我をしないように、裸になったと言われています。今は、旧正月頃ということで、二月中が多いようです。



岡山は、本当にこの会陽の行事の記録が多く残っている地方で、当安住院でも、明治始めまで行われてました。中止になったのは、やはり廃仏毀釈の影響が大きかったようです。この絵のような御祈祷の護符、牛玉宝印のお札が現存しています。その他、数々の会陽の資料も残っています。明治半ばの新聞には、その会陽を復活させようとの記事も掲載されていました。

安住院で行われている、初観音法会は、内容は変わってきていますが、会陽の中心となる正月行事として、護持されてきたものです。檀信徒皆様方の今年一年の招福をご祈念する法会ですので、基本的な考えは変わっていません。

江戸時代には、この瓶井の谷にも多くの裸の群れがあふれ、にぎわっていたことを想像すると、何か楽しくなってきます。年に一度、静寂な操山が、あの熱気に包まれていたのです。現在の本堂は一八〇〇年頃、少し南の地から移築されましたが、その理由の一つが裸祭りのためでした。多くの人達が一ヶ所に集まる場所が、必要だったのです。白門と呼ばれる竜宮門形式の鐘楼門、本堂の向かいの観音石像下の垢離（こり）取り場を始め、本堂内の真木投下用の御福窓などの多くが、現在も残されている理由も理解できることでしょう。

その裸祭りの情景を、多宝塔から眺めることも出来たでしょうし、逆に多宝塔を背にして祭りに参加する群衆の多くも、塔の存在を充分認識していたものと思います。仁王門、本堂、多宝塔と続く伽藍すべてが、瓶井山禅光寺の境内なのです。その環境をより良い形で伝えていけるよう、願っております。

安住院ホームページ　http://www.anjuin.com/

初観音法要のご案内

来る一月十七日（土曜）
午後一時より
本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。
年頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈祷も申し受けますので、三日前までにご連絡下さい。

多宝塔・御本尊修理

現在、修復工事中の多宝塔の御本尊三体の仏像修理が、一足先に完成しました。御本尊については、「みかい」十九号での解説で、再度確認下されば幸いです。
製作時期は塔と同じで、約二五〇年前と考えられますが、重要文化財の指定は有りません。よって、今回の多宝塔修復事業とは別に、当院にて修理致しました。
綺麗に化粧直しされた素晴らしい御本尊です。多宝塔の落慶の時には、一緒に公開を致します。仏像修理の御施主も歓迎いたしますので、ご一報下さい。

不動明王

大日如来

降三世
明王

瀬戸内観音霊場開創記念法要

本年四月一日（水）に毎年恒例の瀬戸内観音霊場の開創記念法要が行われます。
今年の会所は、浅口市金光町（第十七番札所）の泉勝院です。

中国観音霊場参拝⑤

昨年の十月十六日、中国観音霊場参拝の最終第五回目を行いました。
今回は、岡山県内の六ヶ寺を日帰りにて、ゆっくり回りました。秋晴れに恵まれ、絶好のお参りになりました。瑜伽山や良寛さんの寺など、良くご存知の近隣の古刹ばかりですが、逆に近すぎて初めての方も多く、楽しい参拝が出来ました。近くにも素晴らしい観音さまのお寺が数多くあることが、実感出来たことと思われます。
次の高野山の御礼参りで、中国観音霊場参拝も終わります。中国地方五県の観音は、山あり海あり、様々な所にて静かに、私達を迎えて下さいました。このご縁もまた大切にしていきたいもので、今後共よろしく願います。
次の予定は、四月二十二日（水）・二十三日（木）ですので、宜しくお願い致します。